

新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に雇用過剰となった企業が従業員の雇用を守るため、人手不足な企業との間で「雇用シェア」（在籍型出向）により雇用維持する取組みを支援する新たな助成制度を厚生労働省が創設。中部運輸局においても、人材のマッチングを推進するため、関係省庁と連携した取組を実施。

## 在籍型出向制度を活用した中部運輸・観光団体への マッチング支援説明会の実施

- 【日 時】** 令和3年4月23日（金） 13:30～15:00（Web配信）
- 【内 容】** ① 人材確保育成対策推進本部の取組について（中部運輸局交通政策部）  
② 在籍型出向制度について（公益財団法人産業雇用安定センター）  
③ 産業雇用安定助成金について（愛知労働局）  
④ 制度を活用した事業者による事例紹介（鯨第一交通株式会社）
- 【参加者】** 中部運輸局管内運輸・観光関係事業者団体（※） 57団体  
※倉庫業、旅館・ホテル業、鉄道事業・索道事業、自動車運送事業、  
自動車整備事業、海上運送業・港湾物流事業、造船・舶用工業

→ 説明会動画をアップしたので、下記URLよりご視聴ください。

<https://youtu.be/BtRZQH35w-Q>



公益財団法人産業雇用安定センター  
愛知事務所 吉田所長

## 関係機関と連携した人材マッチング意向調査の実施

現在、人材マッチングを希望する事業者を把握するため、運輸・観光関係業界団体を經由して、個社あてに在籍型出向等に係るニーズや課題を調査する「意向確認調査」を実施中。

その後、受け入れ・送り出しのニーズある企業の情報を産業雇用安定センターと共有し、在籍型出向等の円滑な実現を図る。

→ 1件でも多くの人材マッチングを成立させるために、関係団体の積極的な協力をお願いします。



鯨第一交通株式会社 栗原取締役